

2001年3月29日

年明け後、悪化に転じた神奈川県内中堅・中小企業の業況判断 企業経営予測調査 2001年3月調査結果より

(株)浜銀総合研究所(社長 遠山悌二郎)では、神奈川県内の中堅・中小企業を中心としたアンケート「企業経営予測調査」の2001年3月調査を実施いたしました。今般、同調査のなかで最も注目度が高いと思われれます業況判断D.I.の集計結果がまとまりましたのでご案内いたします。

要 旨

神奈川県内中堅・中小企業の2001年3月末時点における業況判断D.I.(全産業ベース)は33となった。前回の2000年12月調査(26)に比べて7ポイント悪化した。「悪い」超幅が拡大したのは98年12月調査以来のことである。さらに3か月先の2001年6月時点のD.I.値についても40と一段の悪化が見込まれている。今回の業況判断D.I.値を製造業、非製造業の別に分けてみると、非製造業に先行して改善が進んでいた製造業は前回2000年12月調査の14から今回25へと11ポイント低下して大幅に悪化した。また、このところ製造業に比べて「悪い」超幅の大きさが目立っていた非製造業でも同38から同40と2ポイント悪化した。

県内景気は、昨年末には生産や個人消費に持ち直しの動きがみられたものの、米国など海外景気の減速から輸出の減少傾向が鮮明となるなかで、今年1月の生産は前月に比べて大きく落ち込んだほか、設備投資にも減速の兆しがうかがえる。また、株式相場低迷による企業や個人のマインド面への悪影響の拡大もあって、景気の先行きは不透明感を強めている。今回の県内中堅・中小企業の業況判断は、そうした景気回復への懸念が明瞭となった結果といえよう。

【本件についてのお問い合わせ先は、下記の担当までお願いいたします】

(株)浜銀総合研究所 調査部
(担当 八木、守谷)
電話 045-225-2375(ダイヤル)

企業経営予測調査

2001年3月実施

四半期別（第119回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした885社
（うち製造業350社、非製造業535社）

回収率37.5%（回答企業332社 うち製造業151社、非製造業181社）

業況判断D.I.

（2001年3月末）

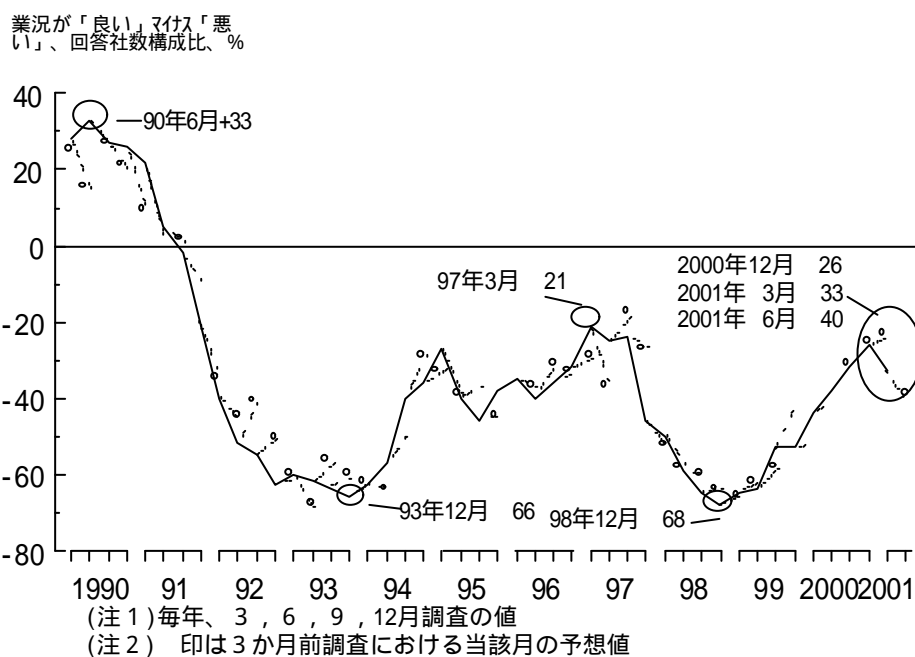
2001年3月末における神奈川県内中堅・中小企業（全産業）の業況判断D.I.（注）は33となった。これは前回2000年12月末調査（26）に比べて7ポイントの悪化であり、12月時点での見込み値（24）を9ポイント下回る。

製造・非製造の別にみると、製造業の業況判断D.I.は、前回調査の14から今回25と11ポイントの大幅な悪化となった。輸送機械は新型車投入効果で国内需要が底堅く推移したことなどから「悪い」超幅が縮小したものの、電気機械、一般機械では、米国向けを中心とした輸出の大幅な落ち込みなどで「悪い」超幅が拡大したためである。

一方、非製造業についてみると、自動車販売や家電販売を中心に卸・小売でマイナス幅が縮小したものの、建設、サービスでは「悪い」超幅が拡大した結果、前回調査の38から今回40と2ポイントの小幅な悪化となった。

（注）業況判断D.I.:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%。

業況判断D.I.の推移
（全産業）



(3 か月先の見通し)

2001年6月末時点の業況判断D.I.は、全産業で40と3月末実績(33)に比べさらに悪化する見通しである。製造業では、輸送機械は横ばいで推移するものの、電気機械、一般機械が大幅な悪化を予想しているため、「悪い」超幅は30と3月末比5ポイント悪化する。

非製造業では、建設は「悪い」超幅が縮小する見込みであるが、卸・小売、サービスで大幅な悪化を予想していることから、D.I.値は49と3月末に比べて9ポイントマイナス幅が拡大する見通しである。

足下の業況判断と3か月先の見通し
(業況判断D.I.:業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

区 分	2000年 9月末	2000年 12月末	2001年 3月末	2001年 6月末 (予想)
全 産 業	32	26	33 (24)	40
製 造 業	20	14	25 (11)	30
電 気 機 械	6	2	18 (4)	27
輸 送 機 械	14	32	26 (16)	26
一 般 機 械	22	0	11 (13)	26
非 製 造 業	43	38	40 (36)	49
建 設	53	53	63 (51)	59
卸 ・ 小 売	41	43	40 (40)	55
サ ー ビ ス	46	15	24 (16)	41

(注) カッコ内は2000年12月末調査時点における2001年3月末予想である。

以 上